

法人向けみえグリーンボンド

みえグリーンボンドとは、三重県が、環境改善効果のある事業等に要する資金を調達するために発行する債券です。募集した資金は、環境改善効果に繋がる事業・プロジェクトに活用します。



三重県は、2019年12月に、脱炭素社会の実現に向け取り組むことを決意し、「ミッションゼロ 2050 みえ～脱炭素社会の実現を目指して～」を宣言しました。2050年までに県域からの温室効果ガスの排出実質ゼロとなった脱炭素社会の実現を目指します。

みえグリーンボンドの充当事業(例)*



信号機等の新設・改良
LED灯器の信号機等を設置することにより、消費電力を削減



藻場造成
水産生物の生息場及びCO₂や窒素化合物の吸収源として重要な藻場の造成



高潮・高波対策
高潮・高波の越波等による漁船への被害を低減するため、漁港防波堤の嵩上げを実施



土砂災害対策
土砂災害から家屋を守るため、砂防えん堤の整備を実施

※ 令和5年度の調達資金は「みえグリーンボンドフレームワーク(令和5年8月策定、裏面参照)」におけるグリーン適格プロジェクトに関する事業に充当する予定です。なお、当該フレームワークは株式会社日本格付研究所(JCR)から「国際資本市場協会(ICMA)の定めるグリーンボンド原則に適合」する評価を受けています。

▶ みえグリーンボンドの詳細は、右記よりご参照ください。



発行概要

名称	三重県令和5年度第1回公募公債(グリーンボンド)
年限	10年(満期一括償還)
発行額	75億円
各公債の金額	1,000万円
条件決定日	令和5年10月以降(予定)
発行日	令和5年10月以降(予定)
引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(事務)／野村證券／岡三証券
購入対象	法人投資家向け
投資表明	投資表明をいただける投資家様については、本県ウェブサイト上で投資家名をご紹介します。

裏面を必ずお読みください。▶▶

令和5年度みえグリーンボンドの資金使途として想定している主な事業

- みえグリーンボンド発行により調達した資金は、温室効果ガス排出量を削減する緩和策と気候変動による影響を軽減する適応策に資する事業等に充当します。

	グリーン適格プロジェクト分類	対象プロジェクト例
緩和策	クリーンな輸送	電動車の導入等
	再生可能エネルギー	太陽光発電設備等の整備
	グリーンビルディング	ZEB等認証を取得する施設・設備整備
	エネルギー効率	県有施設・設備の新築・更新・改修等
	自然資源・土地利用の持続可能な管理等	沿岸浅海域における藻場造成等
適応策	農林水産分野への対応	水産業研究施設機器設備の充実(アコヤガイ等)
	水害対策	治水ダムの建設、河川の改修、堆積土砂撤去等
	高潮・高波対策	海岸保全施設及び漁港施設の改修
	土砂災害対策	砂防事業関係施設の整備等
	農地防災対策	農業用水の確保・利活用対策等
	道路交通対策	道路(橋梁)整備、無電柱化の推進
	情報収集・伝達対策	迅速な避難に資する情報提供システムの整備・改修



クリーンな輸送

電動車の導入



再生可能エネルギー

太陽光発電設備の整備



エネルギー効率

照明のLED化



農地防災対策

農業用ため池の整備

※ 令和5年度の調達資金は「みえグリーンボンドフレームワーク(令和5年8月策定)」におけるグリーン適格プロジェクトに関する事業に充当する予定です。

みえグリーンボンドフレームワークについて

- みえグリーンボンド発行にあたって、「みえグリーンボンドフレームワーク」を策定し、調達資金の使途やプロジェクトの選定基準・プロセス、調達資金の管理、レポートングについて決めました。
- 本フレームワークは、国際資本市場協会(ICMA)によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版との適合性に対するオピニオンを株式会社日本格付研究所から取得しています。

株式会社日本格付研究所(JCR)より

最上位評価の



Green 1(F)

を取得

みえグリーンボンドのお問い合わせ先

金融商品取引業者	店舗	電話番号
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	津ブロック	TEL:059-223-1911
野村證券株式会社	津支店	TEL:059-223-2111
	四日市支店	TEL:059-353-2141
岡三証券株式会社	津支店	TEL:059-226-1511

その他市場公募債に関するお問合せ先

三重県総務部財政課
ホームページ

TEL:059-224-2119(FAX 059-224-2125)

<https://www.pref.mie.lg.jp/ZAISEI/HP/kensai>